

連鎖関係詞節における *that* 節の使用頻度：*who* 節、*whom* 節、 接触節の使用頻度と比較して

福島一人

The Frequency of the *that* — Clause in Concatenated Relative Clauses : Compared to that of the *who* — Clause , the *whom* — Clause or the Contact Clause

Kazundo Fukushima

Abstract

(a) On October 12, 1492, Columbus proudly stepped onto the land he thought was India and talked to the people he thought were Indians. —McConnell, J.(1993).*Understanding the United States*. Tokyo: Kinseido.

(b) On October 12, 1492, Columbus proudly stepped onto the land that he thought was India and talked to the people that he thought were Indians. —McConnell, J.(2001). *Understanding the United States*. Tokyo: Kinseido.

These two sentences are found in different editions of the same textbook. It can be noticed that both sentences use concatenated relative clauses. However, the first sentence in the 1993 edition uses contact clauses, “he thought was India” and “he thought were Indians,” while the 2001 edition uses *that* - clauses, “ that he thought was India” and “that he thought were Indians.”The first sentence by McConnell herself seems to have been rewritten in the later edition by the Japanese editor for Japanese readers’ benefit. There is some doubt as to whether the sequence of the *that* - clause following the *that* - clause is more correct. The sequence of the *who* - clause following the *which* - clause seems also to be possible. The purpose of this paper is to examine the frequency of the *that* - clause in current concatenated relative clauses compared to that of the *who* - clause, the *whom* - clause or the contact clause based on Fukushima(2009). The frequency of each clause in written English or spoken English is also examined. Examples are retrieved from *The British National Corpus*.

1. はじめに

(a) On October 12, 1492, Columbus proudly stepped onto the land he thought was India and talked to the people he thought were Indians.

——McConnell,Joan(1993)*Understanding the United States*.

(b) On October 12, 1492, Columbus proudly stepped onto the land that he thought was India and talked to the people that he thought were Indians.

——McConnell,Joan(2001)*Understanding the United States*.

※以後、アンダーラインは本稿執筆者による。

(a) (b) は、それぞれ連鎖関係詞節 (concatenated relative clauses) を含む。同一テキストであるが、1993 年版では “ he thought was India ”、“ he thought were Indians ” と接触節 (contact clauses) が、2001 年版では “ that he thought was India ”、“ that he thought were Indians ” と *that* 節が使用されている。McConnell 自身による 1993 年版に対して、2001 年版では、日本人編者が日本人読者の便宜を考慮し、関係代名詞 “ that ” を補ったと思われる。

しかし、*that* 節 *that* 節という連続 (sequence) がより正しいか、あるいは使用頻度がより高いかは疑問である。

(c) On October 12, 1492, Columbus proudly stepped onto the land which he thought was India and talked to the people who he thought were Indians.

(c) のような *which* 節 *who* 節という連続も可能である⁽¹⁾。

本稿執筆者が (b) について疑問を感じる理由は、先行詞が人を表す (代) 名詞である場合、連鎖関係詞節においては *that* 節の使用頻度はそれほど高くなく、特に、書き言葉 (written) の使用頻度は高くないと思われることである。

そこで、連鎖関係詞節が連続している場合の具体的な検討は次の機会に行うこととし、本稿ではまず、先行詞が人を表す (代) 名詞である場合に限定し、その使用頻度について検討を行い、そして、連続する場合の推測を行いたい。さらに書き言葉 (written)、話し言葉 (spoken) についても言及したい。

その際に、福島 (2009) で検討した *who* 節、*whom* 節、接触節との使用頻度の比較を行う。当該比較は福島 (2009) と同様、ある典型的な言語環境に着目し、世界最大のコーパスである *The British National Corpus* (以後 *BNC*) に基づき推測するものである。尚、用例の検索は *Shogakukan Corpus Network*(以後 *SCN*) によった。(2007-12、2008-4、2009-1 参照。)

2. 文法書・語法書

まず、本稿執筆者に *that* 節の使用頻度の低さを推測させた理由は、連鎖関係詞節についての代表的な文法書・語法書にその記述が少ないことである。福島 (2009) で挙げた代表的な参考文献の中に、先行詞が人を表す (代) 名詞という言語環境の場合の記述が少ないことである。

福島 (2009) の参考文献では、当該言語環境では *PEU* 以外は、*who* 節、*whom* 節の記述が大部分であり、*that* 節の記述は行われていない。

PEU(2005,p. 612) の記述を新たに加え、福島 (2009) で挙げた参考文献の記述をふりかえる。

2. 1 MEG III , § 10. 7a. pp. 197-198

(a) We feed children *who* we think are hungry.

(b) We feed children *whom* we think are hungry.

すべての内外の文法家が、“who”を“correct”とし、“whom”を“a gross error”「はなはなだし
い間違い」としており、特にFowlerの「立派な作家は“whom”を避ける」という評価に対して、
Jespersenは「多くの著名な作家の作品に見られる」と再度反論している。

that 節の記述はない。

2. 2 Essentials , 14. 4a. p. 137

(a) Ferdinand *whom* they supposed is droun'd(Sh.).

(b) I met a man *whom* I thought was a lunatic(E.F.Benson).

“who”、“whom”、全体的な傾向としては、“whom”の代わりに“who”が使用されるようになって
いるが、その傾向は、関係代名詞については疑問代名詞程強くはない、としている。“incorrect”と
しばしば評価されるが上記のような、主語と動詞が連続する構造における主語の直前では“is still
naturally used”としている。

that 節の記述はない。

2. 3 PEU , (1995, p. 496)

(a) This is the woman (*who,that*)Ann said could show us the church.

この構造において“whom”が使用されることがあるが一般的には“correct”と考えられていない、
としている。

しかし、その直後に次の例が挙げられている。

(b) This is a letter from my father, *whom* we hope will be out of hospital soon.

この例の補足説明として、“...*who* we hope will be out...”を“more correct”としている。

この記述からすると、*whom* 節も“correct”ということになる。

前の用例に対する記述と一見矛盾しているかのように見える。しかし、この記述は、一般的に
whom 節は“correct”と考えられていない、としながらも、Swan自身は*whom* 節も“correct”とし
ていることを示す記述と思われる。そして、PEU(1995)が、英語学習者対象であることを意識した
結果、文法的な*who* 節が“more correct”という補足を行ったと思われる。(a)は、*who* 節と平行し
て*that* 節も使用されることを意味する記述であるが、他の参考文献にこのような記述は存在しな
いことから、(a)の記述には疑問を感じる。

2. 4 CGEL , pp. 466-467

(a) A man with a large waxed moustache and a mop of curly damp hair, *whom* Hal thought might be his uncle
Fred, said, ‘That’s a fine bird you’re carving, Bert.’

規範文法家は、関係代名詞は主語として機能しているので“who”を使用すべきとし、“whom”
は“incorrect”としているが、本構造では“whom”は昔から使用されてきており、現在でも幅広
い話し手に用いられている。質の高い新聞や権威ある作家の作品でも使用されることが極めて多い。
従って標準英語の確立した“variant”として認めざるを得ない旨、記述されている。

CGELは、2002年の出版であるにも拘らず、この記述は、主に、MEGやEssentialsを参考にしてい

る『語法大事典』の記述と共通する。60年以上過去の Jespersen の記述の妥当性が現代でもなお認められていると言えよう。*that* 節の記述はない。

2.5 PEU, (2005, p. 612)

(a) He was trying to find an old school friend, *who(m)* he thought was living in New Zealand.

(b) There is a child in this class *who(m)* I believe is a musical genius.

PEU (2005) では「“whom” が可能か、“who” を使用すべきか、自信が持てないことが多い。」とし、PEU(1995) よりもさらに “whom” の存在を認めているようである。しかし、PEU(1995) と違い、この版では、*that* 節について記述していない。*that* 節の使用頻度が低いと Swan も考え、*who* 節と平行するように読者に思わせる記述を避けたと思われる。

2.6 『語法大事典』, pp. 1, 179–1, 181

(a) Young Ferdinand, *whom* they supposed is drown'd....—Sh.*Tempest*

(b) S.James and S.John, *whom* we know were fishers....—Walton:*The Complete Anger*.

(c) Mr.Thornhill, *whom* the host assured me was hated.

—Goldsmith:*Vicar of Wakefield*.

(d) I met a man *whom* I thought was a lunatic....—Benson:*Arundel*

(e) He never minced his words to rebuke those *whom* he thought deserved it.—*The Times*

(f) She's just the type I always knew would attract him....—Lawrence:*The Ladybird*.

Poutsuma など多くの文法家が *whom* 節を誤用であるとしているのに対し、Jespersen が (a)~(d) の例を挙げ、反論していることを述べている。また、Jespersen の Fowler に対する反論も MEG から引用している。(2.1 参照) (e) は Scheurweghs によるものであるが、質の高い雑誌等でも使用されることを示すものであろう。2002 年出版の CGEL の “...are quite often encountered in quality newspapers...” と関連する用例である。

『語法大事典』では *whom* 節の「慣用性」を完全に認めているようで、文法的な *who* 節、一般的には文法的に破格とされる *whom* 節を同等に位置づけ、「慣用を文法の基準とするならば、現在のところ “who”、“whom” のいずれも文法上正しい」とまで言っている。

しかし、教室で教える場合は “who” とすべき、としている。連鎖関係詞節ではない、挿入節が存在しない場合までも、文法的な主格関係代名詞の代わりに文法的に破格な目的格関係代名詞を使用することを避けさせるための記述と思われる。英語学習者を対象とした、1995 年出版の PEU において、“whom” と “who” について、“who” を “more correct” とした Swan の姿勢が、これと共通するように思われる。

また Jespersen による (f) を挙げ、「関係代名詞の省略は、目的格であるから可能なのであり...」とし、接触節が *whom* 節の延長線上にあることを認める記述をしている。

(g) ...a Harley Street doctor paid £2,500 for him to donate a kidney to a patient whom he believed was a fellow countryman.—(1989) *The Guardian*, electronic edition....

(h) ...a Harley Street doctor paid £2,500 for him to donate a kidney to a patient he believed was a fellow countryman.—(1989) *The Guardian*, electronic edition....

BNC には、(g) と (h)、双方が存在した。このことは、接触節が “whom” が省略されたものであること、

すなわち、*whom* 節の延長線上にあることを示す有力な用例と言えよう。

『語法大事典』は、“*whom*”の用いられる理由として大塚高信『英文法論考』p.215の、同義の2文の混交 (Blending) という見方を挙げている。

(i) a man *who* I thought was a lunatic

(j) a man *whom* I thought to be a lunatic

1995年版にも、またそれ以前の、1982年版、1965年版にも、*PEU*(1995)のような*that*節の記述はない。

2.7 『英文法解説』、p. 75

(a) Give the flute to the one *who/whom* you think plays it best.

文法的には“*who*”が正しいが、関係代名詞が“*think*”の目的語のように感じられるから“*whom*”も使われる、としている。「*Evans(Usage,p.556)*などは“...either *who* or *whom* is acceptable except purists.”と言って、お手上げの格好である。」としている。つまり、文法的な“*who*”を“*correct*”とし、文法的に破格の“*whom*”を“*incorrect*”とする、規範文法家以外、どちらでもよいとされているということである。

that 節の記述はない。

2.8 『英文法講義』、p. 192

(a) We feed children *who(m)* we think are hungry.

しかし、『英文法講義』ではSwanが、直後に、*whom*節の例、(b)を挙げ、*who*節を“*more correct*”としていることについての記述はない。

(b) This is a letter from my father, *whom* we hope will be out of hospital soon.

*MEG III*の例を挙げ、関係詞が主語なのに、*think*の目的語だと誤解される、関係詞牽引という現象により、“*whom*”が使われることがあるが、Swan(1995, p.496)は、一般的に正用とは認められていないとしている旨記述している。しかし、『英文法講義』のこの記述は、Swan自身も“*whom*”を正用と認めていない、という誤解を読者に生じさせる可能性がある。

やはり、*who*節、*whom*節に対応する*that*節についての記述はない。

3. *BNC* における用例数

3.1 言語環境

*BNC*中の*that*節、*who*節、*whom*節、接触節というすべての連鎖関係詞の用例を検索するのは、困難である。従って、ある一定の典型的な言語環境に限定して検索する。これにより、*BNC*の英語、さらには最近の英語（主にイギリス英語）におけるそれぞれの連鎖関係詞節の使用頻度について推測が可能と思われる。

*that*節についての記述は、*PEU*(1995)のみであるが、参考文献に挙げられている連鎖関係詞節の用例と併せて整理すると大体次の言語環境であると言える。これらの言語環境が、典型的、代表的なものと言えるであろう。*that*節、*who*節、*whom*節、接触節について、これらの言語環境に限定

して用例の検索を行う。

挿入節中の動詞は単純現在と単純過去に限定した。

that[*who,whom*] 節

(a) 人を表す(代)名詞 + *that*[*who,whom*] + I[*you, he, she, it, we, they*] + think[*know, believe, hope, suppose*] + V

(b) 人を表す(代)名詞 + *that*[*who,whom*] + 3語までの(代)名詞⁽²⁾ + think[*know, believe, hope, suppose*]+ V

接触節⁽³⁾

(a) 人を表す(代)名詞 + I[*you, he, she, it, we, they*] + think[*know, believe, hope, suppose*] + V

SCN(Shogakukan Corpus Network)の「語(句)検索」により、*BNC*中の、例えば“*that I think*”や“*who you know*”や“*whom she believes*”を検索し、上記の言語環境に該当するものを、一つ一つ用例を検討しながら、抽出した。

that[*who,whom*]節の検索にあたっては、“*that I think*” “*who I thought*” “*whom he thinks*”など、すべての項目の用例数が3,000未満であった。

*BNC*中の*that*節、*who*節、*whom*節、それぞれの使用頻度の比較は完全に可能であり、*BNC*の規模から鑑み、主に現代イギリス英語における、人を先行詞とする連鎖関係詞節それぞれの使用頻度の推測が十分可能であると思われる。

しかし、接触節については、各項目の用例数は3,000を超える項目が存在した。“*I think*”は41,284例、“*I thought*”は13,260例、“*you think*”は9,873例、“*he thought*”は4,038例、“*she thought*”は4,127例、“*I know*”は18,711例、“*you know*”は42,439例が存在した。“*I think*”、“*you know*”などの項目は3,000をはるかに超えていた。本稿では接触節の抽出にあたって、それぞれの項目の用例数を3,000に限定した。その3,000例はSCNが無作為抽出したものである。従って、接触節の一般的な使用頻度については、推測を重ねることになる。

3.2 *that* 節、*who* 節、*whom* 節の用例数

表 1

	think	know	believe	hope	suppose	合計
<i>that</i> 節	13+0	4+0	1+1	0+1	0+0	20
<i>who</i> 節	41+5	32+4	23+6	7+1	2+0	121
<i>whom</i> 節	14+6	10+0	11+2	0+0	2+0	45

＋の後の数字は、挿入節中の主語が3語までの人称代名詞以外の(代)名詞の用例数である⁽⁴⁾。

表1でわかるように、参考文献の用例と同様、人称代名詞が主語の場合のほうが多い。仮に、4語5語までの人称代名詞以外の(代)名詞の用例を検索しても、これ以上の用例数の増加はほとんど

ど無いと思われる。特に “I think” などは、Jespersen の言う tertiary、つまり、副次的な副詞成分的なものと考えられることがあり⁽⁵⁾、従って、連鎖関係詞中の挿入節の部分が他の部分より重たくなる、つまり、長い名詞句などから主語が構成されたり、相や法助動詞が加えられたものから動詞が構成されることが基本的に少ないと思われることによる。

挿入節中の主語が3語までの、人称代名詞以外の(代)名詞である例を挙げる。

that 節については、“...a Londoner that die-hard Tykes believed wouldn't stay five minutes....”、“...Motown acts that the company hopes will be the new Jacksons.” の2例が存在した。

who 節については、“God seems to get a real kick out of choosing people...who others think are useless....”、“...her brother Error and Florence Court Treatt, who Grace(人名)thinks may have been Major Court Treatt's mother....”、“...Ada O'Sullivan, a powerfully-built Cork lass who some people think could win the title.”、“...the red-haired Irishman who many thought was Churchill's bastard....”、“Mark Stein got one, who everyone thought was....”、“...with all these people, who Jo(人名)knew were otherwise pretty cool....”、“...a highly skilled operator who, his players knew, would stay calm in a crisis.”、“...prisoners are sent here who staff believes would be at risk of violence....”、“...a chemical engineer who investigators believe has bomb-making know-how.”、“...a series of prosecutions involving companies who, the organization believes, are exceeding limits of discharge into the Mersey....”、“For a songwriter/artist who the music publisher believes has a good chance of success....” などの16例が存在した。

whom 節については、“...get me the man whom people think can beat me.” “...those people whom the seller thinks are the most likely to give him a sale.”、“Then the other one, whom your sister thinks must be the owner of the farm, apologized for....” “...Sharon Tate, whom Polanski(人名) thought was only fourteen years old.” “...gave the products away to any whom the doctors thought would benefit from them.”、“...someone whom the authorities believed had committed such horrific killings?” などの8例が存在した。

確かに、人称代名詞以外の(代)名詞を挿入節中の主語とする例は多く存在せず、総用例数186例中の26で、14%にすぎなかった(以後、小数点2位以下は四捨五入)。

BNC中の*that* 節、*who* 節、*whom* 節の総用例数、186であり、*that* 節は20、*who* 節は121、*whom* 節は45であった。それぞれ、総用例数の10,8%、65,1%、24,2%を占める。

3.2.1 *that* 節の使用頻度

表1によると、*that* 節の用例数は、*who* 節、*whom* 節のものと比較して少ない。*who* 節と比較すると圧倒的に少ないし、一般的には文法的に破格とされる *whom* 節と比較してもかなり少ない。

that 節は人でないものも先行詞とすることが可能なので、その場合との比較を行う必要がある。表1により、挿入節中の動詞が *think* である例が多かったので、*think* の項について両者の比較を行う。

表2

	I	you	he	she	it	we	they	3語までの(代)名詞	合計
人が先行詞	7	4	0	0	0	2	0	0	13
人以外が先行詞	26	9	7	2	1	5	7	11	68

表2によると、連鎖関係詞節の *that* 節は、人が先行詞の場合より、人でないものが先行詞の場合の使用頻度が高いと推測できよう。

3.3 *that* 節、*who* 節、*whom* 節、接触節の使用頻度

She's just the type I always knew would attract him....—Lawrence:*The Ladybird*

『語法大事典』では、Jespersen による上の例を挙げ、「関係代名詞の省略は、目的格であるから可能なのであり…」とし、接触節が *whom* 節の延長線上にあることを認める記述をしている。(2.5 参照)

McConnell の 1993 年版のテキストでは、接触節であったが、2001 年版では、*that* 節が使用されていた。

On October 12,1492, Columbus proudly stepped onto the land he thought was India and talked to the people he thought were Indians.—McConnell, Joan(1993)*Understanding the United States*.

On October 12,1492, Columbus proudly stepped onto the land that he thought was India and talked to the people that he thought were Indians.—McConnell, Joan(2001)*Understanding the United States*.

前述したが、1993 年版で使用されている McConnell の接触節を、2001 年版では、日本人読者の便宜を考慮して *that* 節に置き換えたと思われる。そして 1993 年版では、接触節を連続させているので、それに合わせて、2001 年版では *that* 節を連続させたのであろう。しかし、元文教大学教授 Bamford 氏は、*that* 節 *that* 節という連続でも *which* 節 *who* 節という連続でも、どちらの方がより良いということはない、と評価した。

接触節については、挿入節中の主語が人称代名詞ではない 3 語までの (代)名詞の用例を抽出するのが極めて困難なので、主語が人称代名詞の場合に限定した。従って、*that* 節、*who* 節、*whom* 節についても挿入節中の主語を人称代名詞の場合に限定して比較を行った。

表 3

	think	know	believe	hope	suppose	合計
<i>that</i> 節	13	4	1	0	0	18
<i>who</i> 節	41	32	23	7	2	105
<i>whom</i> 節	14	10	11	0	2	37
接触節	20+?	7+?	27+?	5+?	0+?	59+?

前述したが、接触節については、項目によっては、3,000 をはるかに超えるものがあつた。それらについては、SCN が 3,000 例を無作為抽出した。従って、表 3 の用例数をはるかに上回るのではないか、と普通は考えられると思う。しかし、本稿執筆者は多くとも 2 倍程度の増加と推測する。大幅な増加を推測できない理由は、全体の用例数が 41,284 の項目や、42,439 の項目について、無作為抽出された 3,000 例の中に、連鎖関係詞節の例は 1 例も存在しなかったことである。しかし、2 倍程度の増加とはいえ、接触節の使用頻度の高さは当初の予測を超えるものである。その使用頻度は、*who* 節程度、あるいは、それを若干超える程度と推測できるであろう。

人でない先行詞であるが、最新の接触節の例を 1 例挙げる。

Tracing the arc of history to a day many thought would never come Barack Obama was to be sworn in Tuesday as America's 44th and first black president—and wade into sea of troubles.—*The Japan Times* (Wednesday, January 21,2009) ⁽⁶⁾

3.4 written、spoken における用例数

BNC で written とされているものは全体の約 89,4%、語数にして 99,431,904 語である。spoken とされているものは全体の約 10,6%、語数にして 11,741,100 語である。

この比率と各連鎖関係詞節の written と spoken に占める比率を比較することにより、それぞれが written、spoken、どちらの傾向にあるかが推測可能と思われる。表 1 から、挿入節中の主語が人称代名詞である言語環境が典型的なものと言える。

表 4、表 5、それぞれ、挿入節中の主語は人称代名詞である。

表 4 (written)

	think	know	believe	hope	suppose	合計
that 節	1	1	1	0	0	3
who 節	29	28	21	6	2	86
whom 節	14	9	11	0	2	36
接触節	16+?	7+?	25+?	4+?	0+?	52+?

表 5 (spoken)

	think	know	believe	hope	suppose	合計
that 節	12	3	0	0	0	15
who 節	12	4	2	1	0	19
whom 節	0	1	0	0	0	1
接触節	4+?	0+?	2+?	1+?	0+?	7+?

表 6 は BNC 全体の written、spoken の占める比率と、それぞれの連鎖関係詞節の written、spoken の占める比率を示す。小数点 2 位以下は四捨五入している。

接触節については、項目によっては 3,000 例をはるかに超え、SCN が無作為抽出したものがある。表 6 は written、52 例、spoken、7 例としての比率である。無作為抽出したものであるから、仮に全用例を検索できたとしても、比率はそれほど変わらないと思われる。

表 6

	written	spoken
BNC	89,4%	10,6%
that 節	16,7%	83,3%
who 節	81,9%	18,1%
whom 節	97,3%	2,7%
接触節	88,1%	11,9%

that 節については、*written*、3 例、*spoken*、15 例である。*written*、*spoken* を合計した用例数で、*written* の占める比率は 16,7%、*spoken* の占める比率は 83,3% であった。挿入節中の主語が 3 語までの (代) 名詞の用例を加えても、*written* は 25%、*spoken* は 75% と、人を先行詞とした連鎖関係詞節では、*that* 節は *spoken* の傾向がかなり強い、*written* における使用頻度がかなり低いと推測可能である。*BNC* 全体の *written*、*spoken* の占める比率は、それぞれ、89,4%、10,6% であることによる。

ここで留意すべきことは、表 2 のように、*that* 節自体が少ないということではなく、人でないものを先行詞とする場合は、連鎖関係詞節 *that* 節の使用頻度は十分高いということである。

人を先行詞とする連鎖関係詞節の *that* 節に対応する、*who* 節については、*written*、86 例、*spoken*、19 例である。*written*、*spoken* を合計した用例数で、*written* の占める比率は 81,9%、*spoken* の占める比率は 18,1% であった。*BNC* 全体の *written*、*spoken* の占める比率からすると、*who* 節の、*written*、*spoken* の占める比率は、ほぼ同じ、あるいは、*spoken* の占める比率がやや高い、と推測可能であろう。

文法的な *who* 節に対応する、*MEG*、*Essentials*、『*語法大事典*』、そして *PEU*、*CGEL* においてその存在を完全に認められているが、文法的に破格な *whom* 節については、*written*、36 例、*spoken*、1 例である。*written*、*spoken* を合計した用例数で、*written* の占める比率は 97,3%、*spoken* の占める比率は 2,7% であった。*BNC* 全体の *written*、*spoken* の占める比率からすると、*whom* 節において、*written*、*spoken* の占める比率は、*written* の占める比率がかなり高いと推測可能であろう⁽⁷⁾。

whom 節の延長線上にあるとされ、*SCN* が無作為抽出した項目を有する接触節については、*written*、52 例、*spoken*、7 例である。*written*、*spoken* を合計した用例数で、*written* の占める比率は 88,1%、*spoken* の占める比率は 11,9% であった。*BNC* 全体の *written*、*spoken* の占める比率と、ほぼ平行していると言える。つまり、*written* にも *spoken* にも同程度使用されると推測可能であろう。

4. おわりに

(a) On October 12, 1492, Columbus proudly stepped onto the land he thought was India and talked to the people he thought were Indians.

——McConnell,Joan(1993)*Understanding the United States*.

(b) On October 12, 1492, Columbus proudly stepped onto the land that he thought was India and talked to the people that he thought were Indians.

——McConnell,Joan(2001)*Understanding the United States*.

Understanding the United States の 1993 年版では (a) であったが、2001 年版では (b) のように “*that*” が補われていた。連鎖関係詞節である接触節の連続を、日本人読者の便宜を考慮し、日本人編者が補ったと思われる。接触節接触節という連続に合わせようと、*that* 節 *that* 節という連続にしたと思われる。しかし、代表的な参考文献の中では、人を先行詞とする連鎖関係詞節である *that* 節の記述は 1995 年版の *PEU* にしか見られない。そして *PEU* にしても 2005 年版では、*that* 節を *who* 節と平行しているように読者に思わせる記述を避けている。Swan が 2005 年版で、記述を変更した理由は、当該言語環境で *that* 節の使用頻度が低いと Swan も考えていることであると思われる。

ある典型的な、代表的な言語環境に限定し、*BNC* を検索し当該連鎖関係詞節の用例を抽出した。人を先行詞とする *that* 節の使用頻度は、挿入節中の主語が人称代名詞でない 3 語までの (代) 名詞

の2例を含めても、僅か20例であった。*that* 節に対応する *who* 節、*whom* 節、そして各項目を3,000に限定し、挿入節中の主語を人称代名詞に限定し、用例を抽出した接触節については、それぞれ、121例、45例、59+?例であった。人を先行詞とする連鎖関係詞節の *that* 節の使用頻度は、*who* 節、*whom* 節、接触節と比較して明らかに低いと推測可能である。しかし、連鎖関係詞節の *that* 節自体が少ないということではない。20例中の15例が存在した“I think”の項について、人でないものを先行詞とする連鎖関係詞節は68例存在したからである。このことから、一般に、人を先行詞とする場合の使用頻度は低いと推測可能であろう。挿入節中の主語を人称代名詞に限定した表6では、written が16,7%、spoken が83,3%であった。また、主語を3語までの(代)名詞の用例数を加えた場合でも、written が25%、spoken が75%であった。BNC全体のwritten、spokenの占める比率は、それぞれ、89,4%、10,6%であることからすると、人を先行詞とする連鎖関係詞節の *that* 節はspokenの傾向が強いと言えよう。一方、接触節はwrittenが88,1%、spokenが11,9%であり、これは、BNCのそれぞれの比率とほぼ平行する、つまり、writtenにも、spokenにもほぼ同程度使用されると推測が可能であろう。

McConnellの*Understanding the United States*は、アメリカ合衆国の歴史と現在抱える問題点を論じており、writtenに属する英語からなると言える。また、Bamford氏が、*that* 節 *that* 節という連続、*which* 節 *who* 節という連続、どちらがより良いということはない、と *which* 節 *who* 節という連続を完全に認めたことも考慮に加えると、本稿執筆者は、当該連鎖関係詞節である接触節の使用頻度の高さからも、writtenにもspokenにもほぼ同程度使用されると推測可能なことから、接触節接触節の連続に戻すか、あるいは、人を先行詞とする *that* 節の使用頻度が低く、spokenの傾向が強いことから、(c)のように、*which* 節 *who* 節という連続にむしろすべきだと思われる。

(c) On October 12, 1492, Columbus proudly stepped onto the land which he thought was India and talked to the people who he thought were Indians.

本稿では、まず、人を先行詞とする連鎖関係詞節の *that* 節に限定し、その使用頻度を他の連鎖関係詞節と比較しながら検討し、関係詞節が連続する場合までの推測を行った。次の機会に、先行詞が人でない連鎖関係詞節、先行詞が人の連鎖関係詞節が連続する場合について具体的に検討したい。

本稿は、2009年1月31日に横浜時事英語クラブ第554回例会で口頭発表した、「連鎖関係詞節の現状(その2)」に加筆・修正を加え、まとめたものである。

尚、当該口頭発表の準備にあたり、元文教大学教授、長野格氏及びJulian Bamford氏には貴重なご助言をいただいた。また、元文教大学非常勤講師、竹田正明氏には最新の連鎖関係詞節の接触節の用例を1例いただいた。本稿にて感謝をしたい。

註

- (1) 元文教大学教授 Julian Bamford 氏からは、「*that* 節 *that* 節という連続と *which* 節 *who* 節という連続とは、どちらの方がより良いということはない。」という評価を得た。Bamford 氏はイギリス人である。
- (2) 福島(2009)では、人称代名詞以外の1語の(代)名詞であった。

- (3) 接触節について、*that*[*who, whom*] 節の (b) の言語環境を抽出するのは、時間的に非常に困難である。従って、(a) の言語環境のみ抽出する。
- (4) 福島 (2009) では、人称代名詞に準じ、1 語の (代) 名詞としていた。
- (5) 例えば、“I think Jo spent too much money yesterday, didn't he?”、“I don't think in those days they they wanted women with minds of their own, did they?” のように、普通、付加疑問文が “don't I?” や “do I?” ではなく、“didn't he?” や “did they?” であることが、このことを示している。
- (6) 元文教大学非常勤講師竹田正明氏からいただいた用例である。
- (7) Bamford 氏も *written* と評価した。

なお、*who* 節、*whom* 節について、どちらが正しいかと尋ねたら、ネイティブの男性大学英語教員 5 名のうち、1 名は「わからない」、1 名は「どちらでもよい」であった。「わからない」「どちらでもよい」としたのは、イギリス人であった。*whom* 節を正しくない、とした 3 名は米国人であったことが興味深い。今後、アメリカ英語のコーパスの用例にも検討を加えたい。

参考文献

- 福島一人 (2009.3.15) 「連鎖関係詞節の現状：*The British National Corpus* の用例をもとに」『言語と文化』第 21 号、越谷：文教大学大学院附属言語文化研究所
- Huddleston & Pullum (2002). *The Cambridge Grammar of the English Language*. Cambridge: Cambridge Univ.Press.(CGEL)
- Jespersen, O. (1974). *A Modern English Grammar*. (repr.) Oxford: Allen & Mowbray. (MEG)
- (1974). *Essentials of English Grammar*. (repr.) London: Allen & Unwin. (Essentials)
- 石橋幸太郎他編 (1965) 『英語語法事典』第 11 版、東京：大修館
- (1982) 『英語語法大事典』25 版、東京：大修館
- (1995) 『英語語法大事典』32 版、東京：大修館 (『語法大事典』)
- 安藤貞雄 (2005) 『現代英文法講義』、東京：開拓社 (『英文法講義』)
- Swan, M. (1995). *Practical English Usage*. (second ed.) Oxford: Oxford Univ. Press. (PEU)
- (2005). *Practical English Usage*. (third ed.) Oxford: Oxford Univ. Press. (PEU)
- 江川泰一郎 (1991) 『英文法解説』改訂 3 版、東京：金子書房 (『英文法解説』)

Appendix

※用例の後の () 中の数字は BNC の示す出版年代、その後は出典である。アンダーラインは本稿執筆者による。

that 節

1. ...he's one of the individuals in the trade union movement that I think are becoming somewhat of a rarity these days....-(1993)...8856 words speech recorded....
2. It was the young people that I think were hit the most.-(1980)...16503 words speech recorded....
3. The only artist I know that brings to mind that I think is absolutely brilliant is David Sheppard.-(1991)132

conversations recorded....

4. There were one or two that were that I think were a little bit careless and didn't quite get the construction correct for them.-(1993)17 conversations recorded....
5. I mean the man, the man that I think er was Captain the deputy harbourmaster I think, he introduced that.-(1987)...14477 words speech recorded....
6. There were others whom I liked, that I thought were particularly honest and whose opinions I respected.-(1992)The Art Newspaper.
7. Terry er sorry Roger if, if I were interviewing for posts, I would appoint, and you know full well I would, the people that I thought were best for that job.-(1993)...19174 words speech recorded....
8. If I was to er ask you to er just for the next ten minutes to start listing out the advertisers that you think might go into these, my guess is you'd only get twenty five percent.-(1994)...8150 words speech recorded....
9. Now suppose you've got a dyslexic child in your class, or one that you think may be....-(?)...135254 words speech recorded....
10. Can you think of any more modern day people that you think could inspire you and can show the gifts of the Holy Spirit in their lives?-(1993)...5747 words speech recorded....
11. ...what are the very simple practical things you can do if you find a baby that you think, suspect's got cold injury?-(1992)...10567 words speech recorded....
12. ...we collected all the friends that we thought would like to help....-(1983)...4832 words speech recorded....
13. But there's people that you know are still now spending them at Christmas.-(1991)103 conversations recorded....
14. At school there's always the two or three girls in the class that you know are sleeping with guys....-(1987) Falling for love: teenage mothers talk.
15. ...you make the project engineer someone who have trained, and, and that you know is capable of doing that job.-(1993)...15838 words speech recorded....
16. Mm. others in the area that they know might be interested in having the pre er prestige er prestige being in the booklet.-(1994)...9141 words speech recorded....
17. I mean your Jesus that you believe was God was Jewish, wasn't he?-(1983)Goodnight Mister Tom.
18. And that's not bad for a Londoner that die-hard Tykes believed wouldn't stay five minutes when he came north after a disastrous spell at Watford.-(1990)The Sunday People.
19. Clint has just met one of The Boys, the latest in a long line of piss-poor pre-pubescent Motown acts that the company hopes will be the new Jacksons.-(1991,1992)New Musical Express.

who 節

1. And a gentleman who I think was Chinese had an accident with some plates whilst serving a meal....-(1991)Daughter of the Dales.
2. Even at the age of 13 I'd be guided only by people who I thought knew something about the game....-(1982)Black sportsman.
3. If you see someone who you think might need a push, ask first if your help is needed....-(1992)Outdoor

Action.

4. When Alayn, for instance, rouses the miller, who he thinks is John....-(1993)The fabliau in English.
5. He had wept almost at the calling up of Michael Soames, who he thought might never dance again....
—(1989)Oh!sister I saw the bells go down.
6. They wanted to give the notebook to Chris Bonington who they thought was coming to Kazakhstan in July.-(1992)Climber and Hill Walker.
7. And I've also gone for quality clients, companies I want to work for and who I know will pay on time.
—(1992)Accountancy.
8. Write the names of anyone who you know is a bully or anyone who is being bullied.-(1992)The chocolate teapot.
9. ...it was a full two minutes before the door was opened and he faced a woman who he knew must be Evelyn Matlock.-(1989)A taste for death.
10. ...and in a mindless vortex of wanting, she, who she knew for certain was not the clinging type, clung on to him.-(1991)His woman.
11. Here we had a man who we knew had serious problems that constituted a danger to himself and others....-(1990)False impressions.
12. There are 80 to 100 members who I believe will support the group after the election.-(1992)Daily Telegraph, electronic edition....
13. Er, what was the plan about the others for all you knew who you believed was there, might have been somewhere else in the flat.-(1993)11531 words speech....
14. The government also tried to secure the removal from Punjab of four senior civil servants and police officers who it believed were strong supporters of Sharif.-(1990)Keesings Contemporary Archives.
15. Fashanu will give Jones, who he believes is one of soccer's most misunderstood men, a glowing character reference.-(1992)Today.
16. We therefore have to be in a position to share the dreams and the understandings of those people who we believe are making the running....-(1988)Making it happen.
17. Police have discovered the body of a pensioner who they believe fell from his dinghy while fishing....
—(1993)Central television news scripts.
18. ...especially amongst our new visitors who I hope will be happy and safe inside our homes.-(1983) Goodnight Mister Tom.
19. ...Pat was first on my mental list of people who I hoped would particularly benefit.-(1989)Rosemary Conley's hip and thigh diet.
20. ...and a child who he supposed must be getting on for four.-(1990)Guilty parties.

whom 節

1. There are very few of those artists of the 1980's whom I think will have any standing in a few years.-(1991) Women's Art.
2. "I've known Buff Orpingtons whom I thought had a spark." -(1991)Unholy Ghosts.
3. ...a client will not discuss intimate affairs with someone whom he believes to know nothing of such matters, or whom he thinks may condemn or be shocked by his problems.-(1979)Sexual aspects of

social work.

4. He consulted a few people whom he thought were good tests of opinion.-(1988)Baldwin.
5. ...the development officer sometimes found a client with a home help whom she thought was unsuitable or would not work well with her support workers.-(1990)Dementia and home care.
6. ...the court held that the police were wrong to arrest for manslaughter the person whom they thought had been driving the truck....-(1990)Freedom under Thatcher.
7. I found it tiring to have somebody in the house whom I knew was not really enjoying what she was doing.-(1993)Disabling barriers: enabling environment.
8. You only do it with those whom you know can take it....-(1992)Climber and Hillwalker.
9. This would explain the cases where the plaintiff accepts a lift with a driver whom he knows is drunk.-(1993)Law of tort.
10. He was not afraid to be seen deep in conversation with a Samaritan woman whom he knew was cohabiting with another man....-(1992)I believe in church growth.
11. Lucille had left France because she loved Sharpe, whom she knew was a better man than he thought himself to be.-(1990)Sharpe's Waterloo.
12. Most were inherent cowards who picked only on people whom they knew were frightened of them.-(1992)Dangerous lady.
13. ...but in order to find an answer to the perennial argument of the single millionaire, I asked someone whom I believe is a millionaire.-(1992)Hansard extracts 1991-1992.
14. Norris is at some pains to extricate Derrida's meanings from the American literary critics whom he believes have misappropriated them.-(1990)Exploding English.
15. Mariategui's assertion of the need for a socialist revolution excluded the possibility of coopting the bourgeoisie, whom he believed had an intrinsic interest in collaborating with imperialism.-(1989)Soviet relations with Latin America.
16. ...the fact that we get most of our true beliefs from other people, whom we believe are better placed than we are to get them for themselves, is just a special case of division of labour....-(1990)Ways of communicating.
17. ...it was surprising how many of the characters were unpleasant, even Tinkerbell, whom she supposed was some sort of bad fairy.-(1990)An awfully big adventure.
18. We hoped that the US medical team whom we supposed would attend him at Wiesbaden...would recognize that he needed a long rest.-(1993)Some other rainbow.
19. I said, get me the man whom people think can beat me.-(1992)Today.
20. The film starred Sharon Tate, whom Polanski thought was only fourteen years old.-(1991)The joker's wild: biography of Jack Nicholson.

接触節

1. You eliminates those who are too timed or those you think are too aggressive.-(1993)speech recorded in public context.
2. You invited people you thought would dislike each other and you watched them get along swingingly.-(1990)The Buddha of suburbia.

3. ...take the ball from an opposing forward and send it to the forward he thinks will make the best use of the pass...-(1981)Herbert Chapman. Football emperor.
4. As he groggily came round he found himself surrounded by three youths he thought were trying to help him.-(1992)The Daily Mirror.
5. ...his wife reproaches him with being a coward because he will not confront the men she thinks have killed the animal.-(1991)Dustin Hoffman.
6. If we nicked everybody we thought might have done a long-firm, we'd never finish our paperwork....-(1992)Crime.
7. Two Norfolk men were recently jailed for seizing a youth they thought had been stealing a bicycles.-(1993) Central television news scripts.
8. In order to produce this chapter, I contacted various people I knew produced interesting and novel food in the past.-(1990)Colin the Clown's party book.
9. He even borrowed money from his father for petrol to join friends in the search for the brother he knew was already dead.-(1992)Today.
10. ...any troops will respond better to a leader they know has been through the fire himself....-(1991) England versus West Indies.
11. In the cold light of day, you're forced to see me as I am-the woman you believe stole your grandfather's jade.-(1992)The stolen heart.
12. And there are other English players, like Steve McManaman, he believes are capable of playing in the Italian league.-(1992)Today.
13. ...a Harley Street doctor paid £ 2,500 for him to donate a kidney to a patient he believed was a fellow countryman.-(1989)The Guardian, electronic edition....
14. An Englishwoman who went to Canada in search of the son she believes could have been murdered has been told....-(1992)Daily Telegraph, electronic edition....
15. She was alone with the man she believed had killed once and tried to kill a second time.-(1988)Guilty knowledge.
16. These are the people we believe have shaped and moulded history, and the society in which we now live.-(1991)Counselling older people.